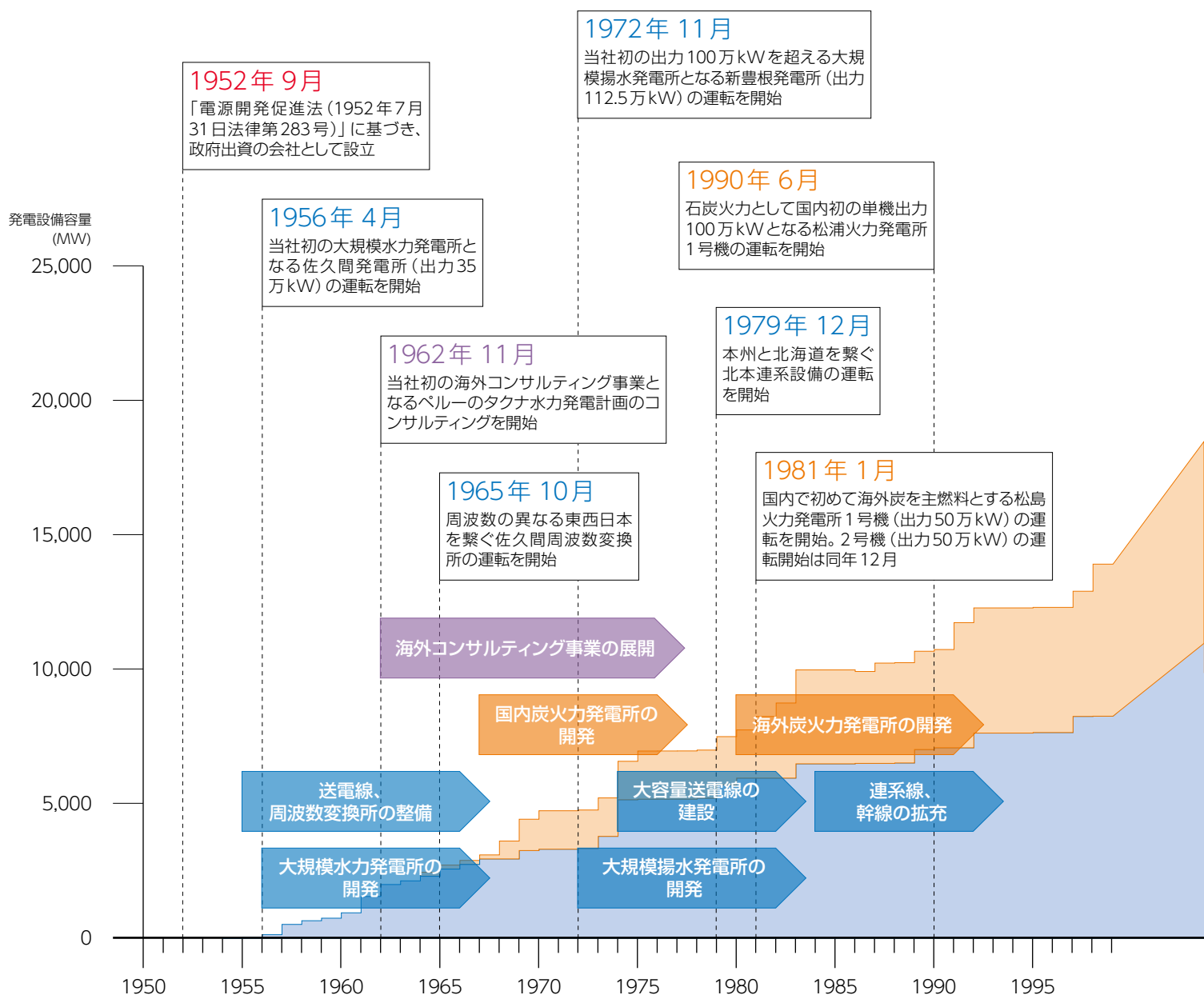


# J-POWERの沿革

1952年、戦後日本の電力不足を克服するため、政府により設立された電源開発株式会社。私たちは、各地域の電力会社を通じて低廉かつ安定した電力を全国に供給し、日本の経済発展と人々の生活向上に貢献してきました。

その後も、エネルギー効率の向上や環境対策への取り組みなど、常に時代にふさわしい電力の在り方を追求。2004年には、東京証券取引所第一部に上場して完全民営化を果たし、より広い活動を展開するようになりました。近年は、「エネルギーと環境の共生」を基調としてグローバルに新しいビジネスの創出にも取り組んでいます。



## 日本の電力自由化

▶ 1995

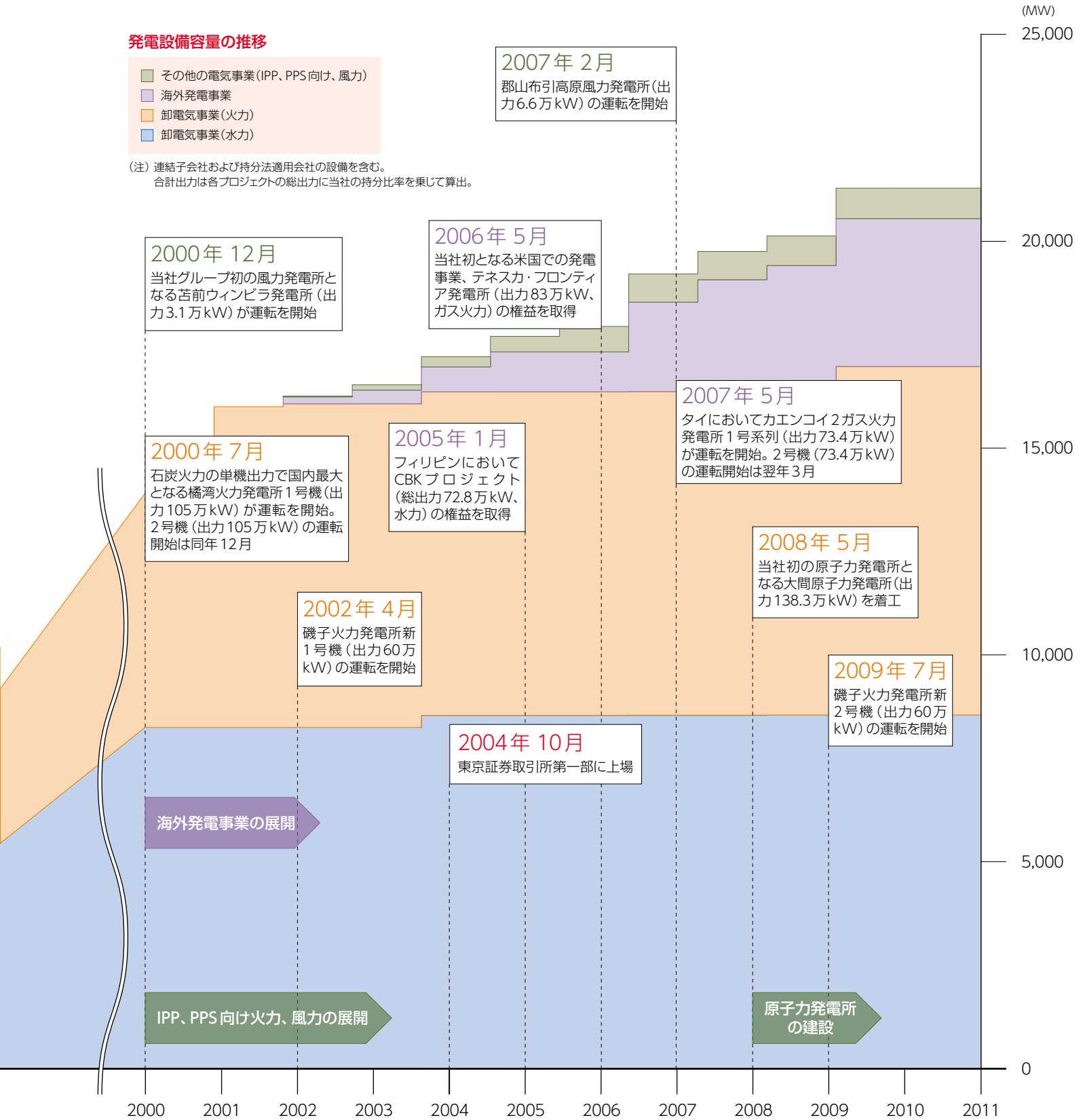
日本では段階的に電力事業の自由化が進み、電力会社以外の事業者が電力会社への卸供給や電力小売に参入できる環境が整えられています。

卸入札制度の導入

## 発電設備容量の推移

- その他の電気事業 (IPP、PPS 向け、風力)
- 海外発電事業
- 卸電気事業 (火力)
- 卸電気事業 (水力)

(注) 連結子会社および持分法適用会社の設備を含む。  
合計出力は各プロジェクトの総出力に当社の持分比率を乗じて算出。



海外発電事業の展開

IPP、PPS 向け火力、風力の展開

原子力発電所の建設

2000

電力小売の  
部分自由化を導入  
(販売電力量で約 30%)

2004

小売自由化の範囲拡大  
(販売電力量で約 40%)  
送配電部門にかかわる  
中立機関(電力系統  
利用協議会)創設

2005

小売自由化の範囲拡大  
(販売電力量で約 60%)  
日本卸電力取引所創設

2008

競争環境整備に  
資する制度改革を優先  
小売自由化の  
さらなる範囲拡大は見送り